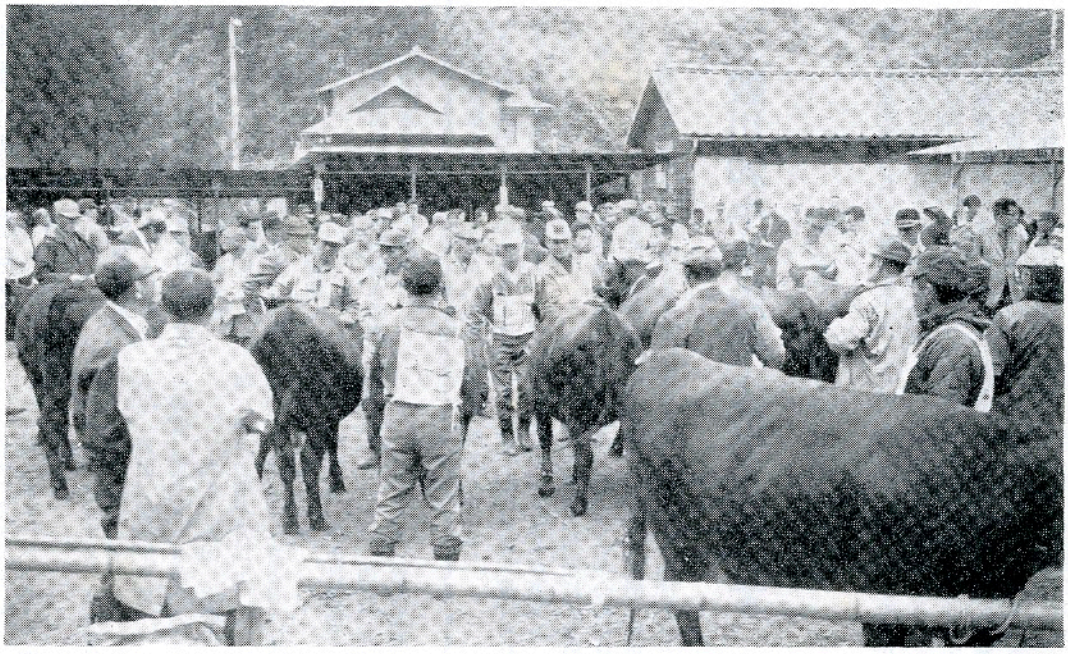
広報
さめがわ

1972
11月号
No. 228
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町・佐藤印刷所



にぎやかにひらく畜産の祭典

村の畜産共進会は今年で25回目となり、4分の1世紀を経たことになりました。

その間、畜種もその当時の王座を占めていた馬から乳牛や肉用牛にかわり、飼養頭数にも消長がありました。しかし現在肉用牛の約1,000頭、乳牛450頭を超える飼養頭数は‘‘畜産の村,,の名に恥じないものといえましょう。

殊に 今年の県肉用牛共進会で 最優秀賞を得た和牛が村から3頭も出たことは、県内外から高く評価され、農家の人たちに誇りと自信をもたせました。

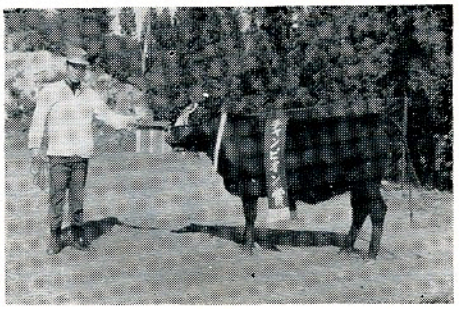
今年の畜産共進会も、11月10日美しい紅葉に包まれた環境で、にぎやかに開催されました。

⊙毎月1日は交通事故ゼロ、歩行者優先の日
⊙流感に注意しましょう
⊙第3日曜日は「家庭の日」です

今月の人口

（11月1日現在）

人口	6,342	(+2)
男	3,191	(+1)
女	3,151	(+1)
世帯	1,196	(−2)



県肉用牛共進会でチャンピオン賞獲得

第三回福島県肉用牛共進会が、去る一〇月一四、一五、一六日の三日間、喜多方市で開催され、本村より四頭（東白川郡より七頭）出陳しましたが、全頭最上位に入賞、特に西山松崎甲子男さんの愛牛が県チャンピオン賞を獲得しました。

なお東白川郡は昨年に続き団体賞で知事杯を受けました。

成績は次のとおりです。

第一部（一六ヶ月～二四ヶ月未満）

チャンピオン　まつや号
優等賞　四六、六、八生　西山　松崎甲子男
一等賞　第二さつき号四六、六、九生　西山　水野正

第二部（二四ヶ月以上）

優等賞　第二はなさと号　四五、八、一生　馬場　生田目長治
優等賞　くにみ号　四五、八、三生　大塩　鈴木光恵

今月の納税

固定資産税――第3期
納期限　11月25日

おくれずわすれず
納期内に納めましょう

昭和47年度の村税は、12月の保険税第5期と村県民税第3期で終ります。
今年も全村完納に御協力下さい。
―未納の村税は　いますぐ納めましょう―

おはなのもみ (19)

今年で三回目の農業祭の記録は度々ありましたが、このような圧倒的実績を納めたことはなくまさに空前の好成績というべきであります。

参加福島県肉用牛共進会は、一〇月一四日から三日間喜多方市を会場として開かれました。

厳正な審査が行われた結果

グランドチャンピオン賞に松崎甲子男のまつや号

二部優等に生田目長治氏の第二はなさと号　鈴木光恵氏のくにみ号

一部一等に水野正氏の第二さつき号

がそれぞれ入賞し、県内肉用牛の最上位を鮫川村の牛が独占する結果となりました。

昔から畜産の村といわれ、産馬華やかなりし頃から上位入賞することを想い、感謝の念を深く

鮫川和牛県内最上位を独占す

村長　石田卯子八

深く敬意を表したいと思います。

また、この功は一人一日で成るものではなく、これまで積み重ねられた種畜の改良、飼養法や流通の改善、技術指導など、多くの人々の努力の総乗績が裏付けされていることを想い、感謝の念を深くする次第であります。

ここ数年基礎調査が続けられてきた阿武隈山系開発の事業が、いよいよ開発構想の策定に入る時期でもあり、肉用牛が中心的作目になる形勢も見られる折柄、鮫川和牛の名声が高らかにあげられたことは、大変意義深いことであります。しかし和牛は農家にとつて経済収益のための動物でありますからあくまで高生産高収益の飼養が重要であることはいうまでもありません。

先日黒毛和種の本場である岡山県下で、福島県阿武隈山系開発促進協議会の現地研究会が開かれ、私が団長となり、町村長等二六名で三日間の視察調査を行いました。

本場岡山の和牛も経済情勢の変化とともに、減頭を余儀なくされている実情にあります。

ただ心を強くしたことは、そのような事情の中に在つて、一人で数十頭を飼育するような企業ベースの肉用牛飼養家が出初めたことであり、また県や公社の実に熱心な研究と経営が続けられている事実を見たことであります。

私は、国の畜産についての基本方針がもつと確実に打ち出され、地域分担、食糧自給率などの方策が明らかにされ、安定的な多頭飼育による高所得畜産が実現するような政策の前進を、皆様とともに期待したいのであります。

人事

●退　職（十月二十五日付）
主事補　山本勝夫　依願退職

おめでた

十月
中沢　円谷真由美　父　鶴男
新宿　鈴木　孝宏　〃　昭治
中沢　円谷　静枝　〃　次男
西野沢　芳賀　智子　〃　文行

おくやみ

十月
虹ケ沢　石井　カノ　71才　世帯主
新宿　大池　康義　66才　一郎
辺栗　生田目サヨ　49才　基義
江竜田　芳賀　伝　37才　政一
官代　水野　カノ　75才　市新二
鍛治平　三瓶　ミツ　75才　美甲子



昭和46年度決算状況

昭和46年度の一般会計決算は 別表のとおり歳入歳出の差引残額は10,434,664円の黒字となり堅実な財政運営でした。

歳入の状況

歳入総額は390,464千円で前年度と比較して33,200千円の増で9.29%の伸びとなり、構成別にみると別表のように地方交付税が54.2%で歳入の5割以上を占め、次いで国や県の補助金が16.3%、村債が13.4%村税7.8%の順となつております。

これからみると国や県から入る金が85.2%を占め村税等の自主財源は14.8%で本村の財政は国や県に依存する度合が大きいことがわかります。

皆さんが納められる税金は1人当り4,679円で、その内訳は別表のとおりで、固定資産税が最も多くなつており、これを類似町村と比較すると 1人当り5,595円なので本村は 916円低く、全国的にみても税負担が低位にあることがわかります。

歳出の状況

歳出総額は380,029千円で、前年に比較しますと25,555千円増となり9.29%の伸びとなり、構成別は教育費が28.3%と最も多く、統合中学校、屋内運動場建設費に40,166千円、同学校プール建設費14,296千円、村民運動場建設費 6,271千円が含まれ、類似町村の教育費は21.2%であるので本村の教育にかける意欲が、いかに高いかが、うかがえます。

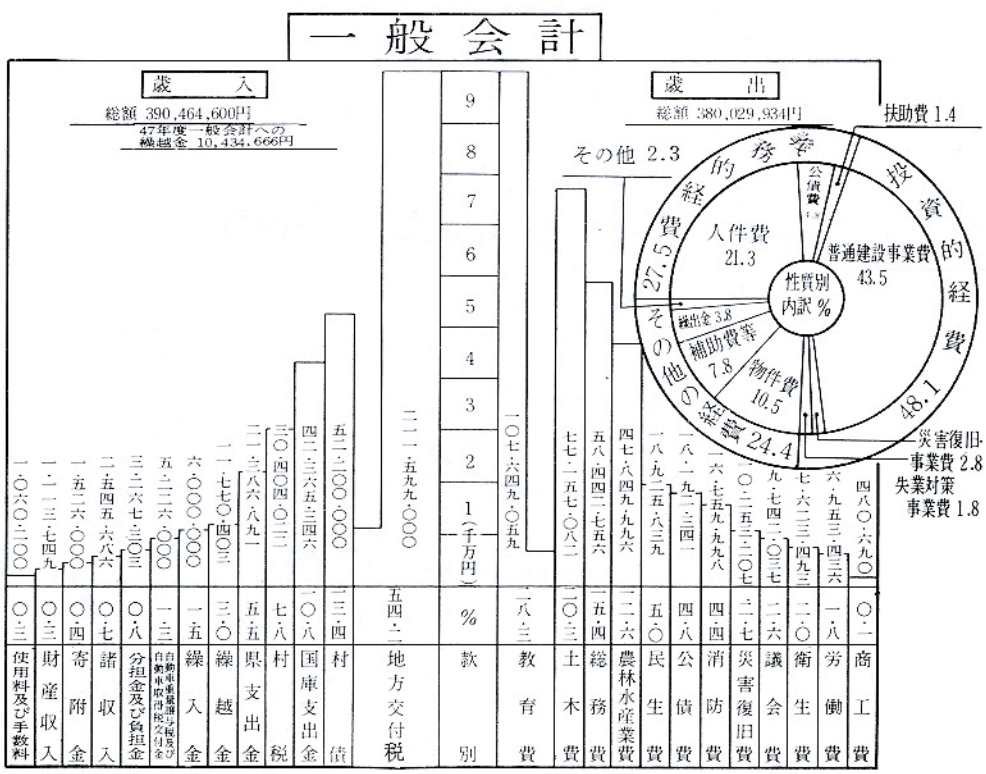
土木費は20.3%で、村道改良費に48,100千円を投じ辺地対策事業で薄ヶ久保地内、山村振興事業で、田中菅の目地内、広域圏事業として官沢地内と鮫川中学校線（舗装工事）が整備され立派な道路となりました。

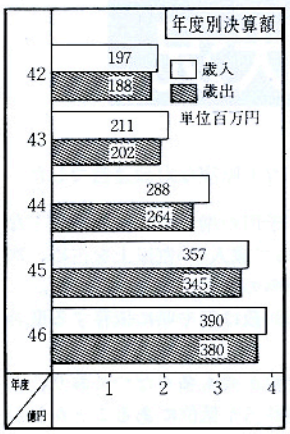
更に 国道289号線や県道路線の改良舗装工事費負担金として20,033千円、巡ケ作地内の河川改良工事、摺合地内の砂防工事などに1,480千円を村が負担しました。その他の歳出内容は別表のとおりです。

次に歳出内容を性質別にみると、学校や道路、プール、運動場などをつくる普通建設事業43.5%で類似町村の40.7%に比べれば2.8%多く、いかに本村が投資的事業に力をいれているかかわかります。

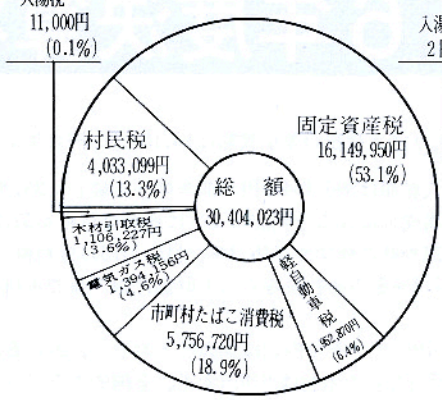
年々上昇している人件費は21.3%（前年度19.2%）を占めていますが、類似町村が26.6%なので比率は高くありません。物件費は10.5%（前年度10.5%）類似町村の13.4%に比べれば低く、このことは無駄なお金は使わず最少限のお金で最大の効果をあげていることを示しており、皆さんの納める税金は直接的、間接的に何らかの形で村民福祉の向上と、住みよい村づくりに使われていることがご理解頂けると思います。

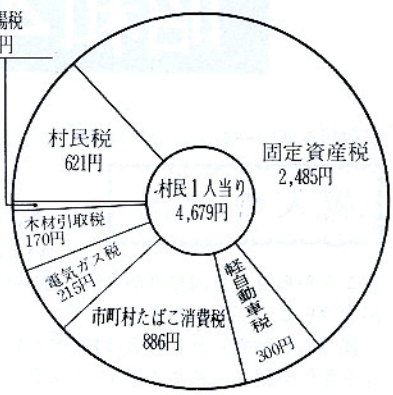
国民健康保険特別会計の事業勘定、直診勘定と簡易水道事業特別会計はいずれも黒字決算となり翌年度へ繰越されました。

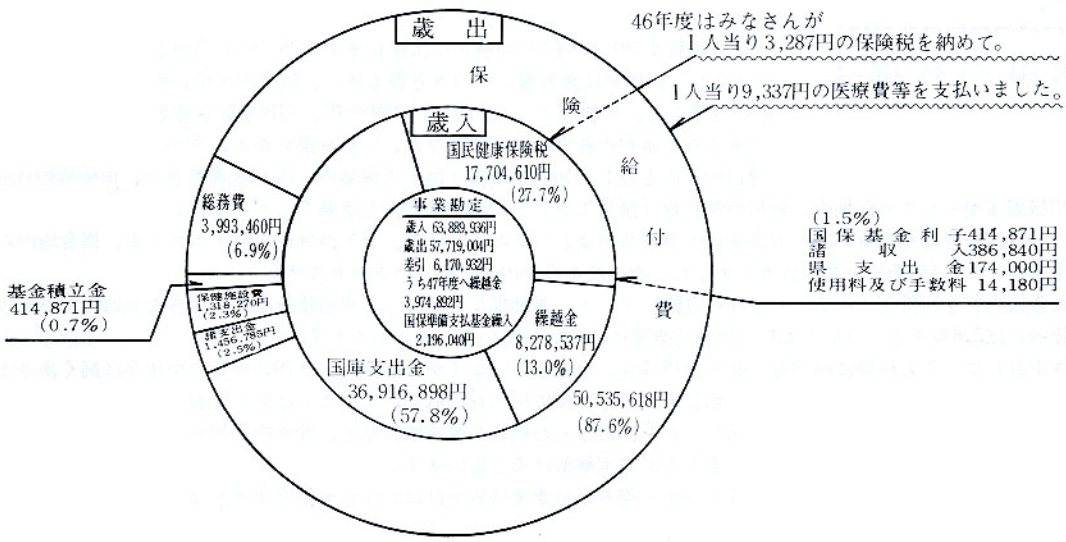


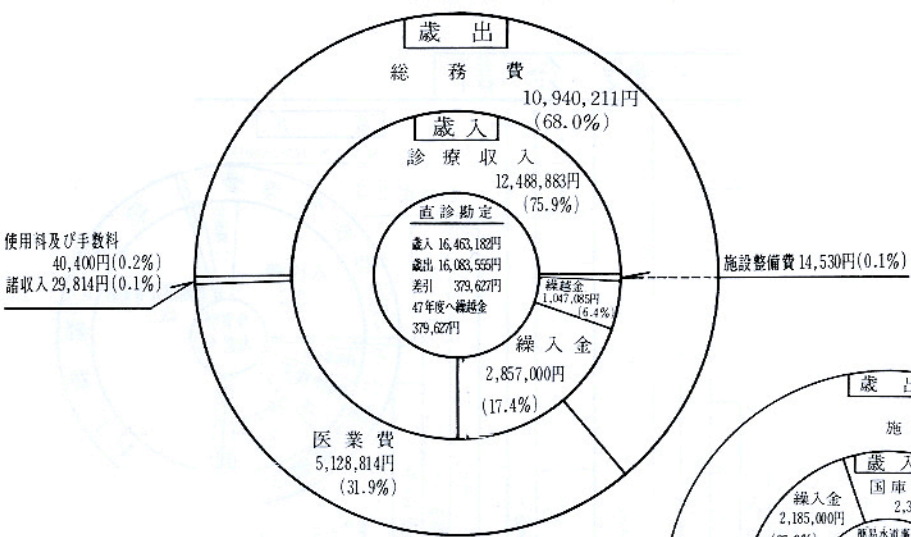


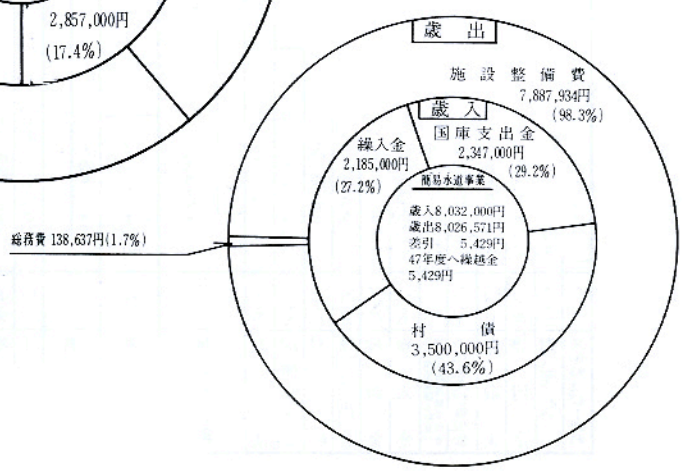
私たちは、この一年間にどのような税を納めたか。











村民運動場年内完成を目指す

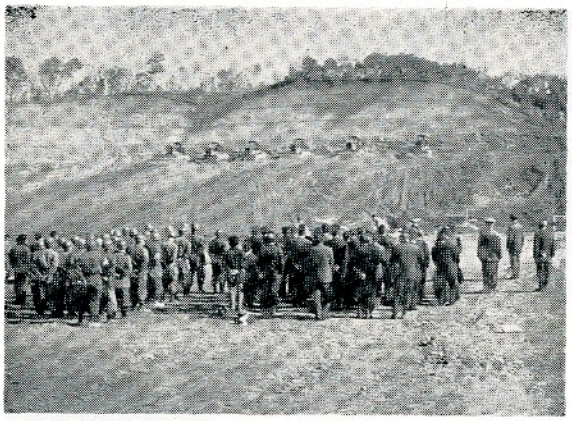
◇大型ブルドーザー七台を駆動
◇陸上自衛隊第一〇五施設大隊第三中隊（鮫川作業隊）が
◇早期完成を目指し突貫工事に入る……

待望久しかった村民グラウンドの整地が十二月中旬までに完成する見透しとなりました。場所は宿の入地内、鮫川中学校から西側に約三〇〇米離れたところです。

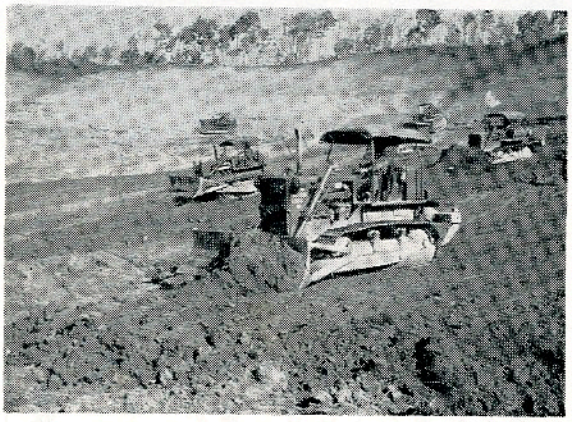
村が山林耕地等約四万平方米を取得し、有効面積約一万八千平方米の総合グラウンドを完成する計画です。

工事は、陸上自衛隊福島駐とん地第一〇五施設大隊第三中隊（隊長石橋芳美一尉）の作業隊七〇名が来村し、自衛隊の部外工事として献身的な作業をつづけています。

石橋作業隊長も、われわれはより厳く、より早く、より良い村民運動場を作って鮫川村民の期待に応えたいと張り切っています。



自衛隊福島地方連絡部長や多数来賓を招き、盛大に起工式が行われました。



能率的に作業を進める鮫川作業隊のブルドーザー

職業相談指導員誕生!!
気軽に相談して下さい

このたび、県では出稼者の多い地域に相談指導員をおくことになり、本村では赤坂東野字内ケ竜の宗田幸雄さんが相談指導員に委嘱されました。

就職の相談や出稼の留守家族の困っていることなど、なんでも相談に応じ、又指導することになっています。

秘密は守られますのでお気軽に相談して下さい。

（電話で相談される場合は「五三七三番」です。）

昭和48年度福島県産業開発青年隊員募集案内（福島県）

◆産業開発青年隊とは

本県の青年隊は昭和二九年に発足し、今年で二〇年目を迎え修了生も四〇〇余名に達しております。修了した隊員は、建設事業の現場第一線にあって土木施工、設計、測量及び建設機械の整備、運転等の中堅技術者又は監督者として活躍しております。

※募集〆切り
昭和四七年十一月三〇日

※募集人員　三六名

◆応募資格

一、本県出身者及び現在県内に居住する十八歳以上の未婚の男子
二、高校卒業者又は同程度の学力を有する者
三、心身強健にして、相当の労働に耐え共同生活の出来る者
四、犯罪歴を有しない者

◆教育期間　一ヵ年で全寮制で集団教育を行なう。

教育の内容等くわしいことについては、役場経済土木課へ問合わせ下さい。



秋の全国一せい火災予防運動

一一月二六日から一二月二日まで全国一せい火災予防運動が行われます。

お互に次のことを守り火災を起さないよう注意しましょう。

1. 慣れた火に新たな注意
2. 今捨てた「たばこ」の温度七〇〇度。
3. たばこの投げすての防止。
4. 寝たばこの防止。
5. たばこは灰皿のあるところで
6. 子供の火あそびに注意。
7. 火気を使用する器具の取扱に注意。
8. 危険物の取扱と保管に注意。
9. 炬燵に石油コンロ、石油ストーブを使用しないこと。
10. 玉屋の火気取扱に注意

,,火事と救急車は一一九番!!



あっ！ちっとまて　外出前に
火の用心

年々ふえる愛好者
第4回菊花展……

公民館主催、鮫川村菊花愛好会協力で、去る十一月三日から五日までの菊薫る候に第四回菊花展が催されました。天候の関係で菊作りには不向きの年といわれましたが愛好者から九八点も出陳され、特に今年は一般参観者が多く盛会でした。

なお愛好会では今後、菊作り一鉢運動を展開して、愛好者をふやす計画もあり、来年の展示会が楽しみです。



公民館の会場に所せましと陳列された菊花……各部門の優等入賞には副賞として村長賞、議長賞、教育長賞、愛好会長賞が贈られました。

文化祭のご案内

第25回鮫川村文化祭は11月21日から23日まで開催されます。

お母さん、お嫁さんに感謝する会や老人作品展などのほか、今年は学制発布100年記念式典や無形文化財「さゝら」の公開などが、鮫川中学校を中心会場として開催されます。

＝行事と催し＝

◉公民館
- 学制発布100年記念式典——21日
- 村章入選発表——21日
- 日本画展——21日～23日
- 婦人会の花嫁衣裳展——21日～23日

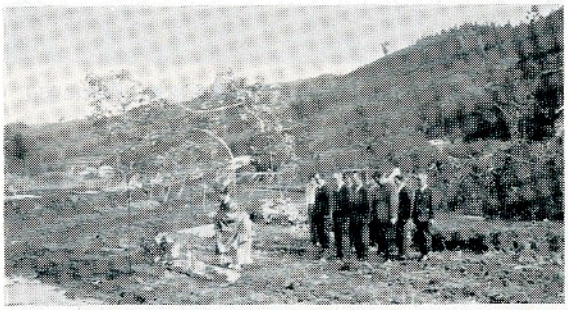
◉鮫川中学校（屋体及び教室の一部）
- お母さん、お嫁さんに感謝する会——22日
  慰安演芸——22日
  （自衛隊音楽隊の演奏・さゝらの公開・民謡と踊）
- 老人作品展——21日～23日
- 優良赤ちゃん表彰式——22日
- 農村地域工業製品コーナー——21日～23日
- 児童、生徒作品展——21日～23日
- 郵便創業100年記念展

◉保育所
- 幼児作品展——21日～23日

◉農協事務所（3階）
- 農協展——21日～23日

◉畜産センター
- 車輌の無料診断——21日～23日

◉協賛行事
- 花嫁衣裳展示会
  新宿　ゆざ美容室——21日～23日
  広畑　もり美容室——21日～23日

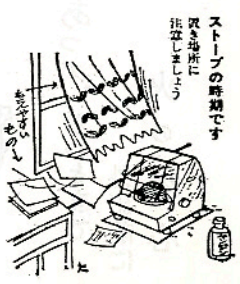


老人保養センターの起工式

11月13日に老人保養センターの起工式が行われ、建設工事が初まりました。来年3月までに、湯の田温泉の近くに立派な保養センターが完成する予定です。

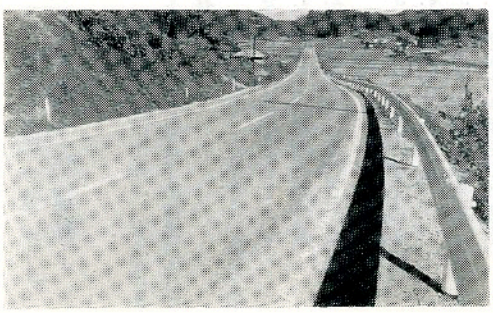
建築確認申請書をわすれずに

○建築主事による確認を受けないと罪せられます。住宅や工場を建てようとする場合、自分勝手に計画し、勝手に建てることはできません。建物の工事にかかる前に、その計画内容を建築主事あて申請（確認申請）し、その敷地や建物の構造、設備等が、防火、衛生、安全性等の点で、法令の規定に適合しているかどうかについての確認を受けなければならない規定があります。確認を受けないで建てたり、内容が法令の定めに反した建て方をすると、使用禁止や工事中止の命令が出されますこの命令が出されると違反建築物である旨の標識が設けられ、また、電気、ガス、水道の供給はストップされます。なお命令に従わない場合は、罰則が適用されます。土地を買う前、家を建てる前には、白河建設事務所へ相談しましょう。



＝＝＝国道二八九号線＝＝＝
全線舗装を目指し突貫工事

鮫川村の渡瀬と青生野を通過する国道二八九号線の改良舗装工事は、本年度約三億六千万円の事業費で急ピッチで進められており、来年三月までには、村内通過部分の国道はほゞ舗装工事が完了する見込みとなりました。



（渡瀬上地内を通過する国道の舗装状況）